

輸出事業計画

※申請者名：有限会社宮原園、品目：茶

1. 輸出における現状と課題

【現状】

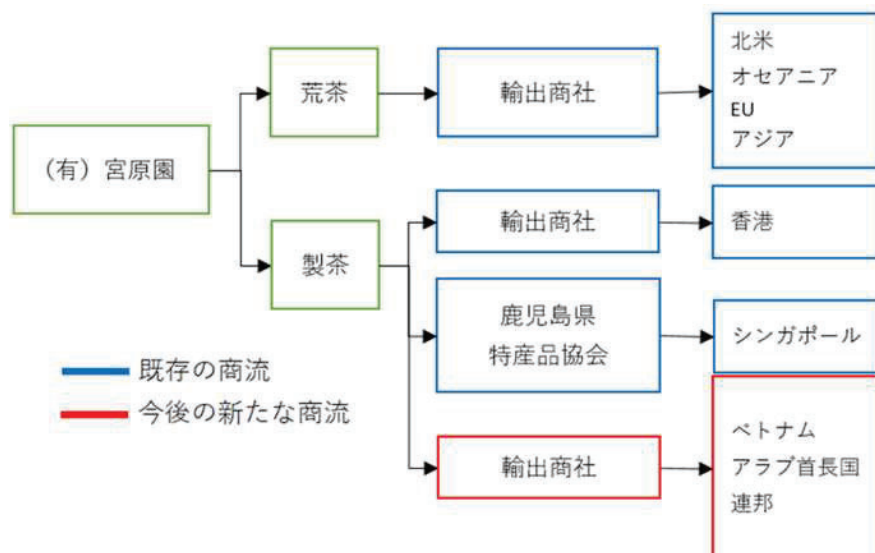
- ・鹿児島県のお茶の生産は全国トップクラスであるが、国内市場の縮小に伴い年々販売競争は激化している。
- ・世界的な健康志向や和食ブーム等を背景に日本茶の海外での人気は高まっており、海外需要は更に高まっていく。
- ・現在の工場は、FSSC22000認証及びHACCPには対応しておらず、対外的にアピールするには弱い部分があった。

【課題】

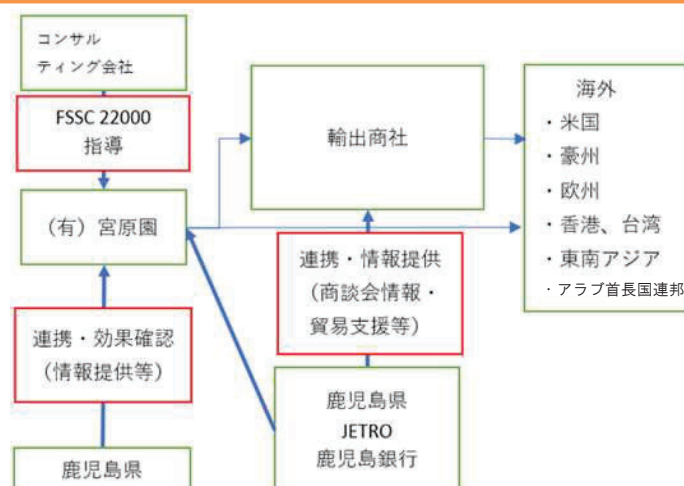
- ・対外的に品質の信頼性をアピールできる規格の取得（商社からは有機JASと海外認証を求められている）。
- ・直接貿易に向けた営業体制の構築。

2. 輸出事業計画の取組内容

これまで輸出に向けた取組としては商社を通じた取組が多く、自社で商談会等へ参加した経験もないが、今回、輸出拡大に向けて設備面の充実をはかり、海外でも通用するFSSC22000認証を取得するほか、同認証の取得を前提に国内商社と打合せを重ね、以下の新たな商流の構築もすすめる。



3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



輸出事業計画

※申請者名：有限会社宮原園、品目：茶

4. 輸出目標額

		現状 (令和3年)	目標年 (令和9年)
知覧地区	輸出額（千円）	50,561	104,000
	輸出先国	アメリカ オーストラリア ドイツ イギリス 台湾 香港 シンガポール	アメリカ オーストラリア ドイツ イギリス 台湾 香港 シンガポール ベトナム アラブ首長国連邦
	取扱量（t）	2,200	2,600